

# リサイクル計画書 (概略設計・予備設計)

業務成果として、設計業務の受注者が作成し報告書に添付

## 1. 事業 (工事) 概要

発注機関名		事業 (工事) 名	
事業 (工事) 施工場所		事業 (工事) 着手予定時期	
事業 (工事) 概要等			

## 2. 建設資材利用計画

建設資材	① 利用量	② 現場内利用可能量	③ 再生材利用可能量	④ 新材利用可能量	⑤ 再生資源利用率 (②+③)/①×100	備考
土 砂	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	%	
砕 石	トン	トン	トン	トン	%	
アスファルト・コンクリート	トン	トン	トン	トン	%	
	トン	トン	トン	トン	%	

※ 最下段には、その他の再生資材を使用する場合に記入する。

## 3. 建設副産物搬出計画

建設副産物の種類	⑥ 発生量	⑦ 現場内利用可能量	⑧ 他工事への搬出可能量	⑨ 再資源化施設への搬出可能量	⑩ 最終処分量	⑪ 現場内利用率 (⑦/⑥)×100	備考
建設発生土	地山m3	地山m3	地山m3	—	地山m3	%	
コンクリート塊	トン	トン	トン	トン	—	%	
アスファルト・コンクリート塊	トン	トン	トン	トン	—	%	
建設汚泥	トン	トン	トン	トン	—	%	
建設混合廃棄物	トン	トン	トン	トン	—	%	
取りこわし建物	件	—	—	—	—	—	

※ 地図、航空写真、踏査等から検討する。

※ 利用可能量等は、現時点で算出可能なものとする。

※ 建設副産物の搬出計画について、基本的には全量を再利用することを原則として計画する。